

早期胃癌、早期大腸癌に代表されるわが国のX線・内視鏡による緻密な診断学は、切除標本の肉眼像を仲介として病理組織所見とX線・内視鏡所見を可能な限り1対1に対応させる手法の積み重ねにより確立されてきた。本号では、新しい診断法の現状と展望につき述べていただいた。

X線診断では、デジタルX線撮影装置(フラットパネル)、Cアーム装置の開発に伴い、診断価値のある写真が容易に撮れるようになりつつある。内視鏡診断では、CCDの性能向上により、電子スコープは細径かつ高画素数化し、診断能が向上している。また、拡大機能はこれまでのpit pattern診断、微細血管模様の観察を超えて、Endo-MicroscopyやEndo-Cytoscopyの開発により生検することなしに、組織診断がなされつつある。さらにこれまで暗黒大陸とされてきた小腸内視鏡の分野では、ダブルバルーン式小腸内視鏡・

カプセル内視鏡の登場で小腸全体を視られる時代となってきた。

CT・MRIなどの断層診断では、機器の進歩による撮像時間の著明な短縮が得られ、virtual colonoscopyをはじめとする各種診断法が可能となってきた。進行癌の拾い上げに有用であり、安全なスクリーニング検査として期待が高まっている。また、PETは現状では転移病巣や再発病巣の診断などに有用性が限られているが、PET-CTの開発により診断能が飛躍的に伸びる可能性が期待される。

以上、21世紀の消化管画像診断は、より精密な診断を目指すと同時に低侵襲・安全性も求められることとなろう。しかし、検査法が開発されるたびに1つ、また1つと検査が増えていくのでは患者はたまったものではない。疾患ごとにより効率的な診断体系の確立も要求されると思われる。

胃と腸

12月号(第39巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定価 2,520円

主題/大腸sm癌の内視鏡治療後の長期経過

序説	大腸sm癌の内視鏡治療後の長期経過における問題点	獨協医科大学・病理学	藤 盛 孝 博
主 題	EMR後の治療方針決定に関する危険因子の検討		
	—review形式で—	防衛医科大学校・外科学第1講座	上野 秀樹・他
	大腸sm癌の内視鏡治療後の再発様式および		
	再発時期について	恵佑会札幌病院・消化器内科	中里 友彦・他
	大腸sm癌の内視鏡治療後の再発・転移の時期と		
	再発様式について	東京女子医科大学・消化器病センター	井上 雄志・他
	内視鏡治療のみで経過観察可能なsm癌の条件		
	—臨床経過からの検証—	広島大学医学部附属病院・光学医療診療部	岡 志郎・他
	内視鏡治療のみで経過観察可能なsm癌の条件		
	—臨床経過からの検証—	慶應義塾大学医学部・外科	山内 健義・他
	大腸sm癌内視鏡治療後の再発・転移様式からみた		
	早期発見のためのフォローアップ法	都立駒込病院・内科	小泉 浩一・他
	大腸sm癌内視鏡治療後の再発・転移に対する		
	早期発見のためのフォローアップ法	健生会奈良大腸肛門病センター	榎本 泰三・他
座談会	大腸sm癌内視鏡摘除の適応および摘除後の		
	follow upをめぐって	市立旭川病院・消化器内科	斉藤 裕輔・他

胃と腸 (第39巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価2,520円(本体2,400円+税5%)

2004年年ぎめ予約購読料35,010円

(増刊号5,775円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株医学書院が保有します。

・JICLS <株日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に株日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)飯村・今田・山中・小松原